

第43回NINJALチュートリアル

これからの消滅危機言語の 保存研究における 市民科学者の育成

山田真寛

国立国語研究所 准教授（言語変異研究領域）

2005年に国際基督教大学卒業後、米国デラウェア大学に進学し2010年にPh.D.取得。日本学術振興会特別研究員（PD）、京都大学、広島大学、立命館大学での任期付き研究職を経て2018年から現職。与那国語と沖永良部語の理論言語学（形式意味論・統語論）・記述文法に関する論文のほか、琉球語絵本『みぢやぬふい（土の声）』、『ディラプディ』を出版。代表を務める「言語復興の港」プロジェクトでは、4冊の琉球語絵本出版のためのクラウドファンディングを実施し、目標額達成。

アシスタント

横山晶子

日本学術振興会／東京外国語大学 特別研究員

一橋大学で2017年に博士号を取得。2014年にハーバードイェンチン研究所、2019年にロンドン大学東洋アフリカ研究学院で客員研究員、2017年から国立国語研究所で学振特別研究員（PD）、2020年から現職。『琉球沖永良部島国頭方言の文法』、『リズムでおぼえるしまむに絵本シマノトベ』、『ましゅいっしゅーぬくれー（塩一升の運）』、『0から学べる島むに読本』など、沖永良部語の記録保存と継承保存に資する著書を出版。2020年に仲宗根政善記念研究奨励賞を受賞。

講師

講座概要

日琉諸方言は流暢な母語話者が高齢であり、その保存研究は研究者が一人だけでできることは限られています。このチュートリアルでは、記録保存と継承保存どちらにとっても言語コミュニティメンバーとの協働が不可欠であるという考え方を提案します。

沖永良部島を中心とした琉球諸島での実践例を紹介しながら、主に「市民科学者の育成」という観点から、これからの消滅危機言語研究はどのようなものであるべきか、その中で研究者はどのような研究活動を行うのか、一緒に考えてみましょう。

開催概要

開催日時 令和4（2022）年3月26日（土）
10:00～16:00

会場 Web開催（zoomを使用）

定員 100名（予定）
※応募者が定員を超えた場合には、大学院生の方を優先とします。

受講料 無料

受講対象 大学院レベルを対象としています。

その他 フィールドデータをお持ちの方はご持参ください。フィールドワークの経験がない方もご参加いただけます。

申込方法

国立国語研究所ウェブサイト
からお申し込みください。



国立国語研究所チュートリアル

検索

申込締切 令和4（2022）年3月18日（金）
※定員に達し次第、募集を締切ることがあります。

《主催・問い合わせ先》

国立国語研究所 管理部 研究推進課

E-mail : ninjal-events@ninjal.ac.jp

TEL : 042-540-4353